

フランス語学科		教授	江花 輝昭	大学院の授業担当 有
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	学生の授業参加意識の向上の取り組み	2001年4月～現在	「文法」の単元終了毎にオンラインで小テストを行い、ただちに正解が確認できるシステムを採用している。さらに、学生の解答に基づいて適切なフィードバックをして、学生のやる気を維持するよう努めている。フランスの文化に関する動画、音源なども活用して、学生の興味をそそる工夫もしている。	
2	学生の質問を聞きだす工夫		オンライン学習システムMoodle上に会議室を設け、疑問がある場合にはそこに書き込みを行えるようになっているほか、随時メールでも質問を受け付けている。基礎フランス語の授業の場合には、適宜机間巡視を行って、学生に直接語りかけ、質問を促している。	
3	学生による授業評価の活用		毎学期授業終了後に行われる授業評価アンケートの結果に基づいて授業の理解度と授業方法が適切であるかどうかを確認し、次学期以降の授業内容と授業方法の改善に役立てている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	オンライン学習システムMoodleを使ったフランス語学習コミュニティサイトの構築と運用		オンライン学習システムMoodleを使って、特に「文法」、「和文仏訳」、「Travaux pratiques」の授業に役立てている。	
2	自前の授業用サイトにおける「LL」の補助教材作成		自前の授業用サイト上に、「LL」に関する補習用の音声練習問題をアップし、学生に利用させている。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1	「実用フランス語技能検定試験」に関して	2001年6月～現在	「実用フランス語技能検定試験」獨協会場の責任者あるいは試験監督者として、フランス語学習者の増加に努力している。	
<b>学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)</b>				
年月日		活動内容		
1988年4月～現在		日本フランス語フランス文学会会員		
2006年4月～現在		日本笑い学会会員		
<b>その他</b>				